

医師のためのリスクリングプログラム

長期間のブランクによる不安を解消します

医学部/医科大学を卒業し、医師免許を取得した医師は、多くが臨床医として診療に従事することになりますが、基礎医学研究や公衆衛生・医療行政に進むものも一定数います。後者の分野で活躍したのちに医師として診療に関わったり、様々な事情で長期間臨床から離れた後に復帰する場合に、医療機関に医師として雇用されながらの学び直しは時に不安と困難が伴いますが、段階的に基礎から学び直す場が乏しいのが現状です。

本学医学類 5 年次から 6 年次にかけて開講している選択臨床実習(インターンシップ)では、修了後、医師として日常業務を任せられることを到達目標に、指導医のスーパーバイズのもと侵襲的な手技等はシミュレーターも活用して、段階的にトレーニングできる実習であり、長期間臨床から離れていたが、基礎から学び直したい医師のニーズに合致するものと思われます。

正課の授業科目によるリスキリングプログラム

プログラム名	医師のためのリスキリングプログラム
プログラム設置部局	医薬保健学域医学類
プログラムコーディネーター	太田 邦雄
概要	<p>医学部/医科大学を卒業し、医師免許を取得した医師は、多くが臨床医として診療に従事することになるが、医学研究や公衆衛生・医療行政に進むものも一定数いる。後者の分野で活躍したのちに医師として診療に関わることになったり、また医師であっても留学、妊娠・出産等ライフサイクルによって長期間臨床から離れた後に復帰する場合など、医療機関に医師として雇用されながらの学び直しは時に不安と困難で、段階的に基礎から学び直す場が乏しい。</p> <p>5年次から6年次にかけて開講している選択臨床実習(インターンシップ)では、修了後、医師として日常業務を任せられることを到達目標に、指導医のスーパーバイズのもと侵襲的な手技等はシミュレータも活用して、段階的にトレーニングできる実習であり、長期間臨床から離れていたが、基礎から学び直したい医師のニーズに合致するものと思われる。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 病歴を聴取して身体診察を行い、鑑別診断を想定する 2. 基本的な検査の結果を解釈する 3. 治療を計画する 4. 多職種のチームで協働する 5. 緊急性の高い患者さんの初期対応を行う 6. 基本的臨床手技を実施する
履修資格・条件・前提知識の目安	<p>選択臨床実習は医学系共用試験を合格した臨床実習生(医学)を対象とした正規プログラムの一部であることから、医師免許を取得していること、何らかの理由で臨床から長期間離れていた、または従事していた領域とは全く別の領域であるため、段階的に基礎から臨床を学ぶ意欲があることを条件とする。</p>
履修期間及び開始Q	履修期間: Q1・Q2・Q4、開始Q: Q1
修了要件	5科目中から6単位以上を修得すること

授業科目名	開講学類等	単位数		修了要件 内訳	備考
		必修	選択		
選択臨床実習A	医学類		2	レポート、プレゼン、miniCEX	2週間
選択臨床実習B	医学類		2	レポート、プレゼン、miniCEX	2週間
選択臨床実習I	医学類		3	レポート、プレゼン、miniCEX	3週間
選択臨床実習II	医学類		4	レポート、プレゼン、miniCEX	4週間
選択臨床実習III	医学類		4	レポート、プレゼン、miniCEX	4週間

特記事項	特になし
問合せ先	<p>プログラムコーディネーター: 医薬保健研究域医学系 太田 邦雄 メールアドレス: kohta@staff.kanazawa-u.ac.jp</p> <p>担当係: 医薬保健系事務部学生課医学学務係(学士課程担当) メールアドレス: t-igaku1@adm.kanazawa-u.ac.jp</p>

プログラム名

医師のためのリスキリングプログラム

プログラムのCP(教育課程編成に関する基本的考え方)

選択臨床実習は、診療参加型臨床実習(インターンシップ)である。診療参加型臨床実習(インターンシップ)とは、単なる臨床見学や診療の枠外で臨床実習を行うものではなく、医学生は診療チームの一員として実際の診療に参加し、指導医の指導・監督の下に実際に患者を診療する。

教育内容・教育方法(教育課程実施)に関する基本的考え方

選択臨床実習の主旨は、学生が診療に参加し、その一員として診療業務を分担しながら医師の職業的な知識・思考法・技能・態度の基本的な部分を学ぶことにある。このために、以下の目標をたてる。

1. 一般目標

これから卒業して医師となるために、基礎、臨床を問わずに、興味のある分野、又は、これまでの学習で不足している分野をさらに深く学習し、知識のみならず態度・技能をも高める。

2. 行動目標

- (1) 自ら行うべき目標を立てる。
- (2) 目標達成のために努力する。
- (3) 選択学習部門ごとの行動目標を達成する。

科目番号	授業科目名	学修目標	Q1	Q2	Q3	Q4
41248	選択臨床実習A	診療チームの一員として診療業務を分担できる				○
41249	選択臨床実習B	診療チームの一員として診療業務を分担できる		○		
41250	選択臨床実習I	診療チームの一員として診療業務を分担できる	○			
41251	選択臨床実習II	診療チームの一員として診療業務を分担できる	○			
41252	選択臨床実習III	診療チームの一員として診療業務を分担できる		○		